

第3回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】原子力防災について

今回の原子力規制法の新基準は、福島第一原子力発電所での事故を反映しているとは思いますが、実際に稼動する場合には、まだ多くの課題があると思っています。私としては、日本原子力発電株式会社に対し、施設が規制基準を満たしているだけでは、住民の安心につながらないのではないかと言いたいです。

⇒【村長コメント】

現在、日本原子力発電株式会社が東海第二原子力発電所の安全対策等の説明会を行っていますが、これはあくまで事業者としての考え方を示しているものと考えています。本村といたしましても、時期を見て、今後、事業者(日本原子力発電株式会社)の考えと東海村の考えを住民に示すことのできる場を設けたいと考えています。

【2】区画整理に係る土地面積の件、防犯灯・街路灯の設置について

自己所有の土地を売却したいのですが、最低敷地面積が230平米に定められているために、一部売れない土地が出てきてしまいました。区画整理地内の土地について、最低敷地面積があるという話は当初聞いていなかったように記憶しており、納得がいきません。

また、自宅の裏手にある駐車場付近の道路では、夜道は暗く、危険を感じています。車のタイヤを切られる、いたづらをされるなどの犯罪も起きていますので、防犯灯を設置してもらえませんか。

⇒【村長コメント】

区画整理に係る土地面積の件については、すぐに解決するのは難しいと思いますが、まずは担当課に確認させます。

防犯灯については、自治会要望によって順次設置しておりますが、街路灯は設置が困難な場合もあります。まずはご自宅付近の状況について、担当課に確認させたいと思います。

【3】道路へ木が飛び出している件について

県道沿いで、木が道路へ飛び出している箇所があります。ところによっては、飛び出している木の下に毛虫が多く出ている箇所もあります。役場のほうでなんとか対応できないでしょうか。

⇒【村長コメント】

県道の管理について、村の担当課から県の担当事務所に伝えさせます。その他、毛虫等への対応を含め、担当課に確認させたいと思います。

【4】広域避難計画、介護予防について

職場が日立市にありますが、作中に過酷事故が起きた場合、茨城県の広域避難計画に基づく避難場所が別になります(参考:日立市→福島方面、東海村→守谷市、取手市、つくばみらい市)。そのため、日中の場合、東海村内にいる妻子と一緒に避難できません。避難後に一緒に暮らすこと

はもちろん、通勤もできないと思います。

また、村広報紙に介護予防に関するものを連載すると、介護予防に興味や関心があっても行動に移せない人を取り込めるのではないかと思います。

⇒ 【村長コメント】

広域避難の話に関しては、より現実的なケースを想定しなければならないと考えています。

介護予防についてはそのとおりで、今後は、介護予防に興味や関心があっても行動に移せない人をどのように取り込んでいくかが重要だと思います。また、健康寿命を伸ばすことも重要だと考えています。

【5】 街路灯、リコッティの利用計画、産婦人科の誘致、駅前に交番を新設することについて

駅前でも街路灯がなく、足元が見えないところがあります。もっと街路灯を増設できませんか。

また、リコッティを東海村が買い取るとの話を知りましたが、どのような利用方法を想定していますか。できれば、駅前に喫茶店などの人が集まるものがあるといいと思います。

さらに、出産・子育て世代が東海村に多いことから、村内に産婦人科を作りたいと思います。妻が現在ひたちなか市の産婦人科に通院していますが、臨月になりバスや電車は使えないため、タクシーを使わざるを得ない状況です。例えば、通院時のタクシー代の補助はできませんか。また、妊娠から出産までについて、事前に資料がもらえるようにしたり、相談ができる場所があったらいいと思います。

ほかにも、駅前に交番があった方がいいと思います。

⇒ 【村長コメント】

街路灯や防犯灯については、色々と要望が出ていて、順番に対処している状況です。暗いとおっしゃられている場所について、今度職員と一緒に歩いてみることも検討したいと思います。

リコッティには、観光協会事務局を置いたり、駅前のギャラリーのような場所としての利用を考えています。駅前に設置したい施設について、様々な要望は受けています。すべてを公共施設内に入れることはできませんが、喫茶店は可能かもしれないので、ご意見として承ります。

残念ながら、村立東海病院に産婦人科を設置するのは難しいと思います。私としても、新たな子育て施策がないか考えているところなので、産婦人科通院時の交通費補助については、実施できるかは分かりませんが、検討したいと思います。また、妊娠・出産に限らず、ライフステージに沿った情報提供が村公式ホームページ等で出来ないかどうか、担当課とともに検討したいと思います。

交番については、そのとおりだと思います。今後の検討材料とさせていただきます。

【6】 地域振興プランへのアドバイスについて

私が大学の自己推薦特別入学試験で提出しようと考えている地域振興プラン「ほしいもプロジェクト(仮)」へのアドバイスをいただけませんか。

⇒ 【村長コメント】

ほしいもの消費拡大、知名度向上など、最終的にこのプロジェクトを何につなげるかを、よりはっきりさせたほうがいいと思います。また、スイーツコンテストを行うとのことですが、賞をとったスイーツを一般家庭に普及させるのか、地元の菓子店に銘菓として販売してもらうのかなど、どう使うのかも考えるといいでしょう。

【7】 原子力防災、情報提供の強化(各関係機関の連携)について

東海村災害時要援護者避難支援計画(さいえんプラン)において、私の住む地域では、一人につき二人の災害時要援護者を見なければなりません。現実的には不可能であると考えています。また、さいえんプランの策定時にも感じましたが、役場内では、横のつながりが足りないと感じています。役場もしくは関係団体で実施する事業等については、横のつながりを使って、より密な情報提供をして欲しいと考えています。

⇒ 【村長コメント】

東海村災害時要援護者避難支援計画(さいえんプラン)については、貴重なご意見として担当課に伝えます。

また、役場もしくは関係団体で事業等を実施する場合には、各関係機関の連携により情報提供を強化するよう、担当課に伝えます。

【8, 9】 村長という職業について

村長という職業について教えてください。(夏休みの宿題「職業インタビュー」によるもの)

⇒ 【村長コメント】

仕事をしていて楽しいときは、住民の方と話をしているときです。

仕事をするうえで大変なことは、決断することです。

仕事をするうえで色々な意見を聞き、受け止めつつも、自分の考えはきちんと持つことが大切だと考えています。

東海村のすごいと思うところは、ボランティア活動などの住民活動が盛んなところと、たくさんの自然が残っていることです。

※10人目の方からは、特筆すべきご意見等は寄せられませんでしたので、やりとりは割愛させていただきます。ご了承ください。